

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表No	備考
346	B-04027261	女性	90歳	150mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシンナトリウム 硝酸イソソルビド アプロピノール 酸化マグネシウム センソンド フロセミド メナテトレン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与（投与開始翌日より入院投与）。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつづまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。	異常-306	
347	B-05025587	女性	90歳	150mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6℃)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる（確定診断は行っていない）。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状（大声で幻覚症状を訴える）発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動（外へ出て座っている等）は回復。	異常-307	
348	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センソンド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用（併用薬は左記のとおり）。入院4日目の夕方、不穏な行動あり（少し認知症の気があった）、その後嘔吐（潜血反応+）あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。	異常-308 死亡-73	
349	B-07013381	女性	94歳	150 mg	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン 塩酸ベニジピン カルベジロール レバミピド クエン酸第一鉄ナトリウム アゾセミド アスピリン・ダイアルミネート カンデサルタンシレキセチル 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン ピレノキシシン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断し、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、夜間、訳のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまったが、同日、異常行動回復。その後は特に異常行動はなかった。	異常-309	
350	B-07000403	女性	小児	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。	異常-310	
351	B-07013378	男性	小児	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。	異常-311	
352	B-07000209	男性	青少年	150 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。	異常-312	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	品別番号	性別	年齢	用量	副作用	経過	経過の概要	前回公表No	備考	
353	B-07027776	男性	不明	150 mg		異常行動 出血	回復 不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビルを5日分処方。 1日目服用したところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っ ていて、気がつくと手から出血していた。知らない間にトイレのタンクを壊して いた。水浸しに気づかず。その後も服用を継続したが、異常行動はなかつ た。	異常-313	2008/4/1以降 追加報告